

第33回下野市行政改革推進委員会 会議録

日 時 平成26年10月9日(木) 午後1時30分～3時30分
場 所 下野市役所国分寺庁舎 304会議室
出席委員 杉原弘修会長、飯島陽子委員、関口博之委員、水上美紀委員、大木徳委員、
園部小由利委員、中林佳子委員
欠席委員 長谷川増夫委員、飯野洋委員、長光博委員
事務局 落合総合政策部長、星野総合政策課長、小谷野主幹兼課長補佐、根本主幹、
坂巻副主幹
傍聴者 なし

○次第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事
 - (1) 会議録署名人の指名
 - (2) 第32回下野市行政改革推進委員会会議録の確認について
 - (3) 行政評価市民評価10事業の選定について
 - (4) その他
- 4 閉会

○開会

(事務局) ただいまより第33回下野市行政改革推進委員会を開会いたします。

○あいさつ

(杉原会長) みなさんお久しぶりです。本日もよろしく申し上げます。

○議事

(1) 会議録署名人の指名

(杉原会長) 会議録署名委員を指名します。名簿順で、水上委員と大木委員にお願いします。

(2) 第32回下野市行政改革推進委員会会議録の確認について

(杉原会長) 事前に送付した前回の会議録については、修正の意見は無かったということですが、改めて修正意見等があればこの場で発言をお願いします。無いようですので、確定させていただきます。

(3) 行政評価市民評価10事業の選定について

(杉原会長) 本日は市民評価を実施する10事業の選定を行いますが、まず事務局から説明をお願いします。

(事務局) 資料1に基づき説明

・資料1「平成26年度下野市行政評価市民評価対象事業一覧表」をご覧ください。

平成26年度における下野市の行政評価対象事業は全部で525事業でした。その内、①総合計画後期基本計画に位置付けられている事業、その事業と明らかに直結的な事業、②平成27年度の事業費見込額が原則500万円以上の事業、③法令等で義務付けられている事業や政策的な判断を伴わないなど、市としての裁量の余地が少ない事業は対象外とした3つの抽出条件を満たした事業が、市民評価対象事業として156事業となっております。

・本日は、一覧表をもとに市民評価対象事業として各委員が事前に10事業程度選択してきていただいたものを、協議・検討して、委員会として10事業の選定を行っていただきます。

・選定については、多くの事業について市民評価を行っていただく観点から、市民評価未実施事業を優先していただくこととし、既に市民評価対象事業となった事業については、原則として選定対象外といたします。一覧表にはその旨分かる表示をしております。また、一つの部署に極端にかたよらないよう、部ごとの対象事業数を掲載しております。

・事業推進方針に記載されている、「積極的に推進する事業、または計画通り実施する事業」や「事業内容を見直しながら実施する事業」という評価については、今後の総合評価を経て最終的な判定となりますので、その点ご了承くださいますようお願いいたします。

・市民評価対象となった事業については、資料2「行政評価市民評価ヒアリング資料」を作成し、事前に資料と一緒に送付いたします。また、ヒアリング時には資料3「委員個別評価シート」にて評価を行っていただきますので宜しくをお願いいたします。

(杉原会長) 協議を始める前に、事務局からの説明で確認しておきたいことはございますか。無いようですので、さっそく皆さんが選定されてきた10事業についてこれから発表していただきますが、10事業に満たない場合もあるかと思えます。また、発表の際には選んだ理由を一言付け加えていただければと思いますが、他の委員の方の選定理由に納得され、自分の選定した事業を変更したいということも可能ですので、とりあえず選定された事業を自由に出していただいて、委員会として協議・決定したいと思います。それでは、飯島委員からお願いします。

(飯島委員) 説明にあった通り、部ごとにかたがりがないよう選びました。
3番「情報システム構築事業」です。情報システムを最適化するというところでどのように変わるのに興味がありました。
7番「市歌制定事業」です。総務部の選定対象事業が1つだけでしたので選びました。
10番「交通指導員配置事業」です。交通指導員がどのように適正に選ばれているのか伺いたと思います。
29番「住宅用太陽光発電システム設置費補助事業」です。以前にも評価したことがあると思いますが、太陽光発電を取り巻く環境がここ数年で変わってきていますので、再度議論させていただければと思います。

57番「介護保険への負担事業」です。介護保険に係る事業について確認したいと思いますので、代表して57番を選びました。

63番「市単独農業農村整備事業」です。事業概要等を読むと、湛水被害等が発生している土地ということなので、どのような整備を行うか伺いたいと思います。

72番「中小企業制度融資事業」です。アベノミクスの効果が中小企業にまで及んでいないとのことなので、市の中小企業の支援について興味があります。

89番「河川管理事業」です。今までの委員会では道路整備の議論が多かったかと思いますが、河川の管理についてどのように行っているか伺いたいと思います。

105番「石橋駅周辺土地区画整理事業」です。この事業も一度評価を行ったことがありますが、その時に地権者の同意に苦慮しているとのことでした。事業が継続されているので、現在の状況を伺いたいと思います。今まで公民館の事業を評価したことがなかったと思いますので、代表して131番「南河内公民館管理運営事業」を選びます。事業内容を見直しながら実施する事業として記載されていますので、どのように実施していくのか伺いたいと思います。

(杉原会長)

続いて、関口委員お願いします。

(関口委員)

21番「(仮称)薬師寺地域交流センター建設事業」です。コミュニティ活動に係る他の事業をみますとコミュニティ活動の推進・促進など記載されていますが、この事業については、事業意図にコミュニティ推進協議会設立と記載されています。私も現在コミュニティ推進協議会の活動を行っていますが、コミュニティ推進協議会とは何を意味しているのか分からなくなる時があります。この事業のヒアリングを通して、コミュニティ推進協議会とは何なのか、どういった組織が良いのか議論していただけたらと思います。

27番「石橋地区ビニプラ分別収集」です。石橋地区以外の国分寺地区や南河内地区の実態や収集はどうなっているのか、また石橋地区のみの分別収集がいつまで続くのかといったことを確認させていただきたいと思います。

33番「社会福祉協議会育成事業」です。社会福祉協議会の主体性の問題や、市に対してどのような提案がなされているのか伺いたいと思います。次に、きらら館、ゆうゆう館、ふれあい館の事業のどれかを選び、それぞれの館の利用状況を確認したいと思います。私の近所のゆうゆう館については、みていると空室が多く100%利用されていません。また、利用したくても貸してくれないという現状もあります。3館の利用状況等知りたいと思いますので、代表して38番「きらら館管理事業」を選びます。

72番「中小企業制度融資事業」です。先程の飯島委員の選定理由をお聞きして私も選ぶこととします。

次に、公民館事業について選びたいと思います。市内には4つの公民館が

ありますが、比較すると、事業内容や目的・意図が違っているように思います。同じ公民館であるのに、それぞれが違う目的があるのか含めて議論させていただきたいと思いますので、代表して134番「石橋公民館管理運営事業」を選びます。

151番「プール管理事業」です。市内には3つのプールがあり、石橋と国分寺のプールの管理事業だと思いますが、比較して、どういった問題があり、どういった管理をしているのか伺いたいと思います。

10事業はないと思いますが、同一の内容でいくつかの事業に別れているものがありますので以上とします。

(杉原会長) 続いて、水上委員お願いします。水上委員ご自身が作成された資料がありますので、そちらもご覧ください。

(水上委員) 今回初めて10事業選定の委員会に参加しますので、何を基準に選定しようか考えた時、1点目として、事前資料に記載されている平成26年度と平成27年度の事業費の比較を行い、事業費の増加が目立つ事業から選ぶこととしました。もう1点として、私自身一市民として関心があるものから選ぶこととしました。それらの観点から、既に評価対象となっていた事業であっても、事業費が大きいものについては、無駄を節約する余地があるのではないかとということで、今回のヒアリング対象としていただけたらと思ってきました。事業費が一番突出している事業は、庁舎建設事業ですが、すでに何度も説明を受けていますので、3番「情報システム構築事業」を選びました。庁舎建設事業については、市広報紙等で状況を見守っていきたいと思います。

21番「(仮称)薬師寺地域交流センター建設事業」です。関口委員と似た理由ですが、私も長年グリーンタウンコミュニティセンターの指定管理者の協定などに関わってきましたが、指定管理者制度を導入している理由や、また他の施設の指定管理についても疑問な点がありました。新しくコミュニティ推進協議会を立ち上げ、指定管理者制度を導入する市の考え方を確認したいと思います。また施設建設費もグリーンタウンコミュニティセンターの建設費より大幅に増えていると思いますので、その点についても教えていただきたいです。

33番「社会福祉協議会育成事業」です。以前自治会の役員をしていた時に、社会福祉協議会の事をきちんと説明できず、会費を集めることに苦慮した経験があります。活動内容をよく理解した上で積極的に協力していくことが出来ればと考えていますので、事業内容を伺いたいと思います。

40番「ゆうゆう館管理事業」です。事業意図にシャンプー等の消耗品費が増加していると記載がありますが、これこそまさに利用者負担の経費だと思い、どのように利用料を決定しているのか伺いたいと思います。以前にも評価対象となったかと思いますが、数年経ち、露天風呂も新設されるなど状況が変わっていますので、新たな視点で経費削減等どのように取り組んでいるのか確認したいと思います。

57番「介護保険への負担事業」です。飯島委員と同じく、介護保険全体

として市がどのように取り組んでいるか伺いたいと思います。

72番「中小企業制度融資事業」です。市がどのようなことを行っているのか学ばせていただきたいと思います。

次に、関口委員と似たような理由で公民館の位置づけなど確認したいと思いますので、134番「石橋公民館管理運営事業」を選びます。

少し戻りまして、事業費が多い事業として、仁良川地区土地区画整理事業から、104番「仁良川地区土地区画整理事業特別会計繰出金」と、108番「仁良川地区土地区画整理事業」をセットで選びます。市として多額の事業費をかけている事業ですので、その推進理由など伺いたいと思います。

154番「大松山運動公園拡張整備事業」です。昨年度評価を行っていますが、事業費が突出していますので、平成27年度の事業内容について伺いたいと思います。

(杉原会長) 続いて、大木委員お願いします。

(大木委員) 2番「広報発行事業」です。広報紙に掲載する中身の検討状況についてや、広報紙に対する市民からの意見の把握等はどのように行っているのか伺いたいと思います。

14番「非常備消防事務費」です。災害発生時の対応や、自主防災組織への指導などどのように取り組んでいるのか伺いたいと思います。

21番「(仮称)薬師寺地域交流センター建設事業」です。選定理由については、今までの委員の方と一緒にです。

47番「認定こども園整備事業」です。管轄する省庁が違うこともあって問題があるように思っています。市においては、そういったところの影響も含めてどのような取組を進めているのか伺いたいと思います。

62番「地域ブランド支援事業」です。かんぴょうなどいろいろなブランド品があると思いますが、支援をどのようにしているのか伺いたいと思います。

65番「地籍調査事業」です。事業として良く分からない部分がありますので、事業内容等伺いたいと思います。

72番「中小企業制度融資事業」です。事業費が約4億7千万円となっていますので、執行状況と制度融資の内容を伺いたいと思います。

95番「道路照明施設等点検事業」です。建設水道部からの選定事業として選びました。街灯と街灯の間が広がっている箇所も見受けられます。街灯が必要な場所の把握や地元要望による設置をどのように進めているのか伺いたいと思います。

125番「スクールアシスタント配置事業」です。事業推進方針が、事業内容を見直しながら実施する事業となっていますが、事業費としては毎年度変わってないように見えますので、どのような見直しに取り組んでいるのか伺いたいと思います。

145番「下野薬師寺歴史館管理運営事業」です。歴史館の集客状況や、どのようなPRに取り組んでいるのか伺いたいと思います。

- (杉原会長) 続いて、園部委員お願いします。
- (園部委員) 昨年度評価を行っていますが、9番「デマンドバス運行」です。私の親も利用させていただきましたが、いろいろな場所を回るデマンドバスは利用しづらいようでした。実際に利用している高齢者の方などは、なかなか意見が言えない様ですので、利用者の家族からの意見も吸い上げるなど、そういった意見も反映していただけたらと思います。ただデマンドバスを運行していますというだけではなく、市民の多くが利用したいと思う制度になっていただけたらと思い選びました。
- 10番「交通指導員配置事業」です。通学路の安全性についての事業がこの事業しか見当たらなかったため選びました。この事業に関係しまして、通学路自体の安全性の見直しや、交通量が多くなっている場所の確認などどのように行っているのか伺いたいと思います。私自身子どもが小さかった時、新しく横断歩道が出来た際に通学路としての安全性をどのように確認しているのか疑問がありました。また、通学路以外で帰ってしまった時は保険が適用されないことを知らない保護者が多かったように思いましたので、通学路の安全性の取組について伺いたいと思い、この事業を取り上げました。通学路だけではなく、不審者等に対する安全性についても、事案の有無も含めて確認させていただければと思います。
- 伺いたい内容からこの事業の選定でよろしいでしょうか。
- (総合政策部長) 内容からしますと、交通指導員配置事業とは違ってしまいます。
- (関口委員) 下校時に地域で見守りを行っている事業はどの事業になるのでしょうか。
- (事務局) スクールガード事業になると思いますが、予算規模は小さく、124番「学校教育運営事業」の中に含まれてしまっています。この事業の中で、スクールガードや、関係機関と協力して通学路の合同点検等行っています。
- (総合政策部長) 評価対象10事業の中に124番「学校教育運営事業」が選定され、スクールガードや通学路の安全性の確保について重点的に説明を受けたいということは可能ですので、皆様で協議していただければと思います。
- (園部委員) 続いて、20番「自治会長等事務報償事業」です。昨年度も評価を行いました。その時に市としては報償費等の支給のほかに自治会運営への関与が難しいという説明を受けたと思います。
- (総合政策部長) 昨年度の担当課からの説明では、自治会それぞれが目的を持って運営されており、組織としてそれぞれの自治会に運営はお任せしているということだったと思います。
- (園部委員) 大変な思いをしている自治会長さんを手助けするような取組が必要だと思います。
- 自治会の問題を一緒に解決することも市の仕事だと思います。
- (総合政策部長) 自治会作りの支援として市では活動費等を交付しています。市の協力は当然ですが、あくまでも活動の中心は自治会で、協働のまちづくりを進めていただければと考えています。
- (園部委員) 評価対象事業として選ぶかどうかですので選ばせていただき、再度自治会への支援等について伺いたいと思います。

続いて、21番「(仮称)薬師寺地域交流センター建設事業」です。理由は皆さと同じです。

40番「ゆうゆう館管理事業」です。検診等で使用しているホール以外はいつも空いている気がします。綺麗で設備も整っているのになぜ利用できないのか不思議に思っています。

(関口委員) 会議室はほとんど空いています。市が貸してくれないからです。

(園部委員) 周りでもなんで貸してくれないのかと言われていています。もったいないと思います。

(関口委員) 私もそのことを知りたいです。ゆうゆう館には、ゆうゆう館の管理のための部署と社会福祉協議会が入っていますが、会議室等の貸出はどちらがどう行っているのかよく分かりません。

(園部委員) 疑問に思っている方が多いようなので選ばせていただきます。

番号が戻りまして、29番「住宅用太陽光発電システム設置費補助事業」です。下野市は希望の方が多く順番待ちもあると聞いていますので、現在の状況を伺いたいと思います。

70番「共通商品券発行事業」です。この事業が市内の産業にどの程度貢献しているのか教えていただければと思います。

120番「奨学金貸付事業」です。貸付金の返還の状況や、希望者に対しての貸付状況など伺いたいと思います。

127番「学校教育サポート事業」です。昨年度評価を行った事業ですが、不登校など重要な問題ですので、昨年度に比べて取組が進んでいるのか伺いたいと思います。

148番「スポーツ振興事業」です。スポーツ教室について、申込が多い場合抽選に外れた方に連絡がいく事になっているようですが、どの程度希望通り参加できているのか伺いたいと思います。

(杉原会長) 続いて、中林委員お願いします。

(中林委員) 5番「広報ラジオ番組制作事業」です。私はラジオを聴かないので知らなかったのですが、FMで情報発信をすることによりどの程度の効果があるのか、データ等あれば教えていただきたいと思います。

15番「消防防災施設管理事業費」です。近年いろいろな災害があり防災意識は高まっていると思います。市内において、どのような防災施設があり、どのような管理がされているのか実態を伺いたいと思います。

30番「マテリアルリサイクル推進施設整備事業」です。どこにどの程度の規模の施設ができるのかという概要と、小山市等関係機関との関連性についても伺いたいと思います。環境事業については、今後一層取組が進んでいくことになると思いますが、その最初の整備となると思いますので、今後の見通しについても伺いたいと思います。

42番「こぼと園事業」です。事業概要に、発達が気になる未就学児等の発達を支援する事業と記載されています。こぼと園での支援をどの段階で判断するのか、どのように支援を決定していくのかなど、利用状況を伺いたいと思います。

47番「認定こども園整備事業」です。幼稚園に補助金を交付し、保育園のような環境を整備することは、保護者にとっては助かることだと思います。しかし、幼稚園の職員等は負担が増えることだと思います。人的な手当や移行に当たっての支援について、市としてどのように取り組んでいるのか伺いたいと思います。

62番「地域ブランド支援事業」です。かんぴょうの消費拡大に向けた具体的な取組状況を伺いたいと思います。かんぴょうが消費拡大しない原因のひとつに使いにくさがあると思います。私としては、JAや食品会社と連携して新しいかんぴょうの商品を開発するなど、考えられる取組はいろいろあると思います。若い世代の消費拡大に向けた市の取組について伺いたいと思います。

93番「市道2-7号線整備事業」です。石橋総合病院の移転に関連した道路整備事業ですが、移転場所の近くには学校などがあり、今現在細い道路の地域です。安全性等どのように取り組んでいるのか伺いたいと思います。

101番「緑の基本計画策定事業」です。緑の基本計画という言葉が綺麗で興味が湧きました。27年度単年度で策定する事業となっていますので、緑化推進についての計画が具体的にどこまで進んでいるのか伺いたいと思います。

104番「仁良川地区土地区画整理事業特別会計繰出金」です。事業概要に人件費に充てるために繰出金を支出すると記載がありますが、市職員の人件費なのか、業務委託先の人件費のかなど説明していただければと思います。

120番「奨学金貸付事業」です。事業が始まって何年か経過していますので、園部委員と同様、利用状況や貸付金の返還の状況を伺いたいと思います。

(杉原会長) 最後に発表させていただきます。

5番「広報ラジオ番組制作事業」です。費用対効果がどうなっているか、番組制作は業者に丸投げとなってしまっていないか、市民の意見をどの程度反映しているのかなど伺いたいと思います。

21番「(仮称)薬師寺地域交流センター建設事業」です。理由は皆さと同じです。

34番「特定疾患患者福祉手当給付事業」です。特定疾患患者に対する支援として、手当以外の精神的な支援等はどのように取り組まれているのか伺いたいと思います。

40番「ゆうゆう館管理事業」です。ゆうゆう館、きらら館、ふれあい館については、これまで何回も取り上げてきていますが、それだけ関心が高いということだと思います。評価する際には3館の利用頻度などの状況の分かる資料を提出していただきたいと思います。

63番「市単独農業農村整備事業」です。市単独整備事業として、どのような事業を行い、効果がどの程度農村に還元されるのか伺いたいと思いま

す。

72番「中小企業制度融資事業」です。理由は皆さんと同じです。

101番「緑の基本計画策定事業」です。緑の基本計画という計画がどのようなものなのか伺いたと思います。

103番「都市計画マスタープラン見直し事業」です。見直し事業というものは、どこをどう見直すのかということの説明が必要があるため、なおさら重要で大切な事業だと考えています。

146番「文化財展示収蔵施設整備推進事業」です。収蔵施設整備後の収蔵品の管理方法が問題になってくると思います。また、収蔵すべき文化財としてどのように判断していくのかなど伺いたと思います。

(事務局) 本日欠席の飯野委員、長委員から事前に10事業の報告がありましたので発表させていただきます。

飯野委員は、21番「(仮称)薬師寺地域交流センター建設事業」、28番「環境衛生事務費」、29番「住宅用太陽光発電システム設置費補助事業」、30番「マテリアルリサイクル推進施設整備事業」、38番「きらら館管理事業」、40番「ゆうゆう館管理事業」、41番「ゆうゆう館改修事業」、103番「都市計画マスタープラン見直し事業」、113番「水道料金等徴収事務委託」、150番「運動場管理事業」となっています。

長委員は、9番「デマンドバス運行」、70番「共通商品券発行事業」、71番「商工業振興事業」、74番「観光振興事業」、78番「道の駅しもつけ基金費」、114番「水道施設整備事業」、117番「浄化槽設置補助金」、121番「中学校施設整備事業」、122番「小学校施設整備事業」、141番「芸術文化事業」となっています。

(園部委員) 選択する際に悩んでいたのですが、70番「共通商品券発行事業」ではなく、5番「広報ラジオ番組制作事業」に変更したいと思います。

(杉原会長) それでは、投票数の多い事業の確認をしていきたいと思います。

[10事業選定チェック表をもとに156事業の集計結果を確認]

(杉原会長) 投票数の多い事業から選んでもよろしいでしょうか。

(大木委員) 選定の前提として、24年度・25年度の市民評価対象事業は除くとのことでしたので、できるだけ今まで評価していなかった事業で事業費の大きいものを評価対象とすべきだと思います。例えば9番「デマンドバス運行」については、昨年度評価をしています。

(水上委員) 「デマンドバス運行」については、2名の委員が選定しています。まず3名以上の委員が選定した事業を評価対象とし、次に2名の委員が選定した事業について協議を行えばいいと思います。

(杉原会長) それでは、昨年度までの状況を考慮しながら、投票数の多い事業から選定を行っていききたいと思います。

(総合政策部長) 104番「仁良川地区土地区画整理事業特別会計繰出金」を2名の委員が選択されましたが、この事業については一般会計から特別会計への繰出金

のため、仁良川地区土地区画整理事業そのものについての確認になると、108番「仁良川地区土地区画整理事業」となりますので、事前にお伝えいたします。

(大木委員) 私も、繰出金については単に予算を持っているだけの事業であるので、事業についての確認は、繰出金を支出した先の事業とすべきだと思います。

(杉原会長) 今の意見も踏まえて選定作業を進めたいと思います。

まず、3名以上の委員が選定した事業として、5番「広報ラジオ番組制作事業」、21番「(仮称)薬師寺地域交流センター建設事業」、29番「住宅用太陽光発電システム設置費補助事業」、40番「ゆうゆう館管理事業」、72番「中小企業制度融資事業」となりますので、これらの事業をまず評価対象事業として選定します。

(関口委員) 40番「ゆうゆう館管理事業」については、3館の利用状況等まとめて確認させていただきたいと思います。

(水上委員) 特別会計への繰出金の事務事業は評価対象としては適さないようですので、104番「仁良川地区土地区画整理事業特別会計繰出金」ではなく、選定候補に挙げていました103番「都市計画マスタープラン見直し事業」に変更します。

(中林委員) 私も104番「仁良川地区土地区画整理事業特別会計繰出金」ではなく、103番「都市計画マスタープラン見直し事業」に変更します。

(関口委員) 都市計画マスタープラン見直し事業は、最近市で行ったまちづくりのアンケート調査と関係があるのでしょうか。

(事務局) アンケート調査については、第二次総合計画策定のためのものです。26年度・27年度の2カ年で策定することとしています。都市計画マスタープランの見直しについては、第二次総合計画に合わせたものとするための見直しとなりますので、第二次総合計画の素案が固まっていない現段階では、どのような見直しを行うか委員の皆様が納得するような回答は得られないかと思います。

(杉原会長) ヒアリングの意味がありませんので、103番「都市計画マスタープラン見直し事業」については選定しないこととします。

(飯島委員) 131番「南河内公民館管理運営事業」を選んでいましたが、公民館事業についてお聞きしたかったので、2名の委員が選定しています134番「石橋公民館管理運営事業」に変更します。

(杉原会長) それでは134番「石橋公民館管理運営事業」も3名の委員が選ばれたので、選定します。

(関口委員) 公民館事業については、市内4館の状況について確認する必要があると思います。

(事務局) 4館すべての管理運営状況となりますと、4館それぞれが管理運営費を予算計上しておりますので、ヒアリングにも相当な時間が必要になると思います。

(関口委員) 館長が管理運営を行っているのは分かりますが、公民館を所管する生涯学習課で把握している内容ではないでしょうか。それぞれの公民館が単独で

行っている事業については、いい面もあると思いますが、課題を話し合い問題解決を図っていくべきで、それは主管課である生涯学習課の役割だと思います。

(総合政策部長) 今回の市民評価については、行政内部で評価した事務事業について市民評価を行っていただくことになっています。公民館の所管課である生涯学習課においては当然公民館を統括することになりますが、評価を行っていただく際には、生涯学習課の取組も含めて、それぞれの公民館の管理運営事業についてどうかということになります。

(関口委員) 公民館事業で研修等があった際に、同じような場所に行ったとしても参加費が公民館ごとに違う場合がありますので、統一した取組が必要だと思います。また市民サービスについても公民館で差があるように聞いています。そのような状況をどう解決するかも含めて伺いたいと思っておりますが、事業選定としてはどのようにすればいいのでしょうか。

(事務局) 各館の管理運営状況と生涯学習課の取組についてということであれば、4館の管理運営事業を選定していただければと思いますが、それだとヒアリングに相当な時間が必要となります。

(関口委員) 今回の資料を見ますとそれぞれの公民館で事業意図の記載内容が違います。それぞれの公民館の目的は何なのか、地域によって違うのかなど伺いたいと思っております。

(園部委員) 公民館事業を取り上げるのであれば、4館それぞれの事業内容を比較する必要がありますと思います。

(事務局) それぞれの公民館の事業内容等を比較するとともに、主管課である生涯学習課の取組を確認したいという事であれば、1事業分のヒアリング時間では短いと思いますので、2事業分の時間を使いヒアリングを行うということでいかがでしょうか。

(杉原会長) そのような形でヒアリングが出来たらと思います。
今までの協議で7事業分の選定となっています。建設水道部の事業が選定されていないようですので、2名の委員が選定しています101番「緑の基本計画策定事業」はどうでしょうか。

(関口委員) 新しい計画策定の事業になりますが、ヒアリングの際に事業内容の詳細は固まっているのでしょうか。

(事務局) 27年度に方針が固まってきますので、今現在ではヒアリングにおいて詳細を説明することは難しいかと思っております。

(杉原会長) 他に各委員が選定されている事業でご意見等ありますか。

(大木委員) 私は95番「道路照明施設等点検事業」を選んでおります。理由は26年度に比べて27年度事業費見込額の伸びが大きいからです。何か理由があるのでしょうか。

(事務局) 27年度において市内に設置している街路灯の点検及び各種台帳の作成を行うこととなっています。台帳等を整備し、計画に沿った修繕等を行うことになっていますので、26年度に比較し事業費が大きくなっています。

(大木委員) 理由がはっきりしているのであれば、95番「道路照明施設等点検事業」

ではなく、８９番「河川管理事業」に変更します。

- (杉原会長) それでは２名の委員が選ばれた８９番「河川管理事業」を選定します。
- (関口委員) 仁良川地区土地区画整理事業について、当初特別会計への繰出金の話も含めて何名かの委員が選ばれていたかと思しますので、選定されてはどうでしょうか。
- (水上委員) 私も同じ意見です。区画整理事業については説明を伺いたいと思います。
- (杉原会長) それでは、１０８番「仁良川地区土地区画整理事業」を選定します。あと１事業ですが、どうしても選定したいという事業はありますか。
- (園部委員) １２０番「奨学金貸付事業」は現在の状況を是非伺いたいと思っています。
- (飯島委員) 介護保険事業は、今後事業費自体大きくなっていく事業で、それに伴い市民の負担も大きくなると思います。市としてどのような対策を考えているのか伺いたいと思っています。あとは、３３番「社会福祉協議会育成事業」にも興味があります。
- (関口委員) 私も社会福祉協議会については伺いたいことがありました。市に対して社会福祉協議会から何か提案があるのですか、市からこういった指示をしているのですか、こういった連携を図っているのですかということです。社会福祉協議会の計画は誰が立てるのでしょうか。
- (飯島委員) 社会福祉協議会に勤務している方の資質など、必要とされているものは何かということも伺いたいと思います。
- (関口委員) 社会福祉協議会がこういった事業を行うかということは、どこでだれが決めているのでしょうか。また、市民が支払っている会費についても伺いたいと思います。
- (総合政策部長) 委員の皆様が疑問に思っていることも含めてヒアリングしていただければと思います。
- (杉原会長) それでは、３３番「社会福祉協議会育成事業」を選定します。選定した事業としては１２事業ありますが、１０事業分としてヒアリングを行います。選定した１２事業は、
- ５番「広報ラジオ番組制作事業」
 - ２１番「(仮称) 薬師寺地域交流センター建設事業」
 - ２９番「住宅用太陽光発電システム設置費補助事業」
 - ３３番「社会福祉協議会育成事業」
 - ４０番「ゆうゆう館管理事業」
 - ７２番「中小企業制度融資事業」
 - ８９番「河川管理事業」
 - １０８番「仁良川地区土地区画整理事業」
 - １３１番「南河内公民館管理運営事業」
 - １３３番「南河内東公民館管理運営事業」
 - １３４番「石橋公民館管理運営事業」
 - １３６番「国分寺公民館管理運営事業」
- で決定とします。

(4) その他

- (杉原会長) 今後のスケジュールについて事務局から説明をお願いします。
- (事務局) ヒアリングについては、どの事業をどの日に行うか関係部署と日程調整し、改めて部署名を入れた日程表を各委員には配布いたします。
- 次回の日程は、10月30日(木)です。4事業のヒアリングを予定しています。ヒアリング時間については昨年度より短くなってしまっていますが、質疑応答時間は同程度確保するよう努めますので宜しくお願いします。ヒアリング資料については、事前に送付させていただきますのでご確認ください。
- (杉原会長) 委員からご意見等ございますか。
- (大木委員) 昨年度の最終報告書の中の「来年度以降の行政評価の運用改善に向けた個別意見」において、ヒアリング資料と評価シートの見直しを検討すべきとの意見がありました。検討した結果同じ様式としたのでしょうか。
- (事務局) 市民評価も含めた現在の行政評価システムは、総合計画後期基本計画の中で運用しています。第二次総合計画を策定する中で、現在の行政評価システムの検討を行う予定となっており、市民評価における様式等も検討したいと考えています。今年度においては、昨年度同様の資料・評価シートで対応させていただくこととしましたので、ご理解いただきますようお願いいたします。
- (大木委員) 分かりました。
- (杉原会長) 市民から見ても分かりやすく、委員の意見が直接反映できる様式に改善されればと考えています。
- 本日は活発に議論いただきましてありがとうございます。他に意見等無いようですので、議事は終了としたいと思います。

○閉会

- (事務局) 以上をもちまして、第33回下野市行政改革推進委員会を閉会いたします。

以上